

ふくしま教育ニュース

2021年11月 第57号 編集・発行 福島県教育委員会

一人一人のがんばりを認める「ふくしま学力調査」

1 「ふくしま学力調査」の特長

特長 その1

他のお子さんや県の平均正答率との比較ではなく、**現在の自分の学力のレベルを知り、過去の自分と比較して「学力の伸び」を実感**することができます。一人一人のがんばりを認める調査です。



特長 その2

学力以外の力(根気がある、やるべきことをきちんとやる、自分に自信がある等)が、どれだけ身に付いているのかが見えます。これらの力は、学力との関係が強いといわれています。

特長 その3

学校や教育委員会では **特長 その1**、**特長 その2** の調査結果を分析することで、学力向上に向けた**授業改善**や**子どもたち一人一人に応じた指導・支援の充実**を図ることができます。また、**学力を伸ばしている効果的な取組**を明らかにし、その取組を広げていきます。

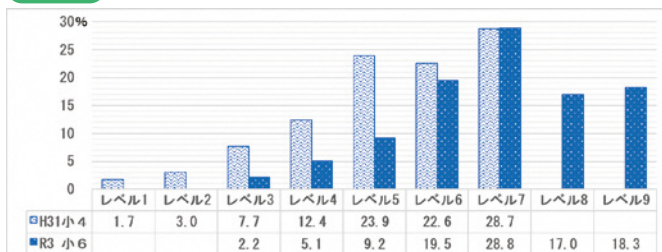


2 令和3年度「ふくしま学力調査」の結果から見たふくしまの子どもたちの頑張り

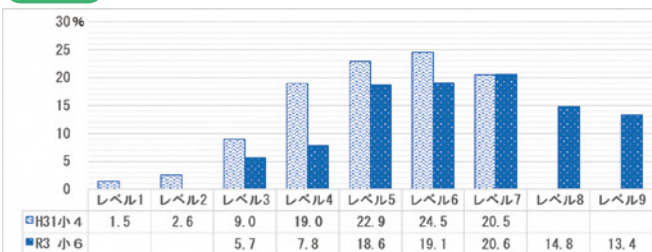
◎平成31年度調査と比較することで、同じ学年集団が学力を伸ばしていることが分かります。

平成31年度小学4年生→令和3年度小学6年生 学力のレベルの分布

国語



算数



◆ 本調査の「学力」は、何問正解できるかだけでなく、問題ごとに設定された難易度をもとに、「どのくらい難しい問題に正解できるか」を示すものです。学力のレベルは12段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。

「第7次福島県総合教育計画」に関する教育公聴会を開催しました。

8月16日(月)中通り地区、17日(火)会津地区、20日(金)浜通り地区の県内3地区において、オンラインによる教育公聴会を開催しました。教育公聴会では、令和4年度からの福島県の教育の基本方針となる第7次福島県総合教育計画の中間整理を元に、「これからの福島の教育を考える」というテーマについて、中学生・高校生・PTA・一般公募の方々が意見を発表しました。

発表では、現在の教育の課題と改善点についての意見や、「福島らしさ」「福島ならではの教育」をキーワードにした現在の学校の良さと10年後の学校の理想の姿についての意見が出されました。教育公聴会で出された意見は、パブリック・コメントと併せて策定懇談会で協議し、計画策定の参考としました。



中通り地区の発表



会津地区の画面



浜通り地区のオンラインによる発表

第7回ビブリアバトル福島県大会 地区予選会

福島県教育委員会では、中高生の情報発信能力の育成や読書への関心を高める取組として、ビブリアバトル福島県大会を開催しております。令和3年度は、浜通り、中通り、会津で地区予選会を開催し、数多くの高校生が熱いバトルを繰り広げました。

ビブリアバトルとは？

お気に入りの本を持ち寄って、その本の魅力を5分間で紹介し合い、観戦者の投票によって一番読みたい本(チャンプ本)を決める書評ゲームです。

開催
日時

浜通り地区予選 日時:令和3年10月 2日(土) 場所:いわき市文化センター
中通り地区予選 日時:令和3年10月 9日(土) 場所:新白信ビル
会津地区予選 日時:令和3年10月17日(日) 場所:じげんプラザ



浜通り地区予選



中通り地区予選



会津地区予選

福島県大会(令和3年11月20日(土)開催)の結果については、社会教育課のホームページをご覧ください。

福島県 ビブリアバトル

検索



令和3年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

令和3年10月3日(日)、自治会館にて「令和3年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」本選を開催しました。予選を突破した12グループが、語り部活動・ボランティア・復興・まちおこし・製品開発など、自分たちが行っている社会貢献活動について発表しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、発表グループと審査会場をオンラインで結び形となりました。

最優秀賞は、チームしゅわしゅわ(学校の枠を超えたグループ)の「手話カフェ～しゅわしゅわ～」でした。聴覚障がい者への共感や理解のきっかけとその居場所をつくることを目的とした活動で、手話で接客する「手話カフェ」を高校生で運営したことや、手話での交流イベントを学校の枠を超えたメンバーで企画・実施したことについての発表でした。

また、他の受賞チームは右のとおりです。

今後も、高校生の地域課題解決に向けた学習体験を支援し、発表・顕彰の場を提供することで、日本を元気にするふくしまの高校生を応援してまいります。



発表の様子



参加者記念撮影

最優秀賞 (福島県教育委員会より)

チームしゅわしゅわ(学校の枠を超えたグループ)

優秀賞 (福島県教育委員会より)

白河高校 Smile More ひがしプロジェクト
ふたば未来学園高校 社会起業部
ふたば未来学園高校 メディアコミュニケーションゼミ
ふたばメディアグループ

入選 (福島県教育委員会より)

会津若松ザベリオ学園高校 ザベカフェプロジェクト
城下町映えさせ隊(学校の枠を超えたグループ)
田村高校 三春滝桜ボランティア隊
遠野高校 家庭クラブ
浪江町を元気に笑顔に!(学校の枠を超えたグループ)
福島商業高校 福商 課題研究調査研究班
ふたば未来学園高校 原子力防災班ゼミ
船引高校 船高アクティブリーダー育成プロジェクト

福島大学アドミッションセンター長賞 (福島大学アドミッションセンターより)

城下町映えさせ隊(学校の枠を超えたグループ)
浪江町を元気に笑顔に!(学校の枠を超えたグループ)
船引高校 船高アクティブリーダー育成プロジェクト

社会貢献賞 (福島大学アドミッションセンターより)

本選出場の全12グループ

第9回特別支援学校作業技能大会 ～夢に向かってつながろう つなげよう テクノチャレンジ2021～

第9回特別支援学校作業技能大会を令和3年8月5日(木)に開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症及び2月の本県沖を震源とする地震の影響により会場を分散しての開催となりました。メイン会場の郡山支援学校と郡山市労働福祉会館の2会場で、検定部門(ビルクリーニング、喫茶接客サービス、パソコンデータ入力、店舗販売)、作業製品品評部門、あん摩施術評価部門を行いました。分散開催であったため、現在、県立学校で整備を進めているICT機器を活用し、会場間をリモートでつなぎ会場の様子を互に見合うことができるようにして実施しました。約90名の生徒が参加し、緊張感が漂う中、外部審査員の前で日頃の学習の成果を十分に発揮することができました。

この大会への参加をとおして、生徒たちはできることを増やし、自信をもって日々の学習に取り組んだり、働くことへの意欲をより高めたりする姿が見られています。



ビルクリーニング



喫茶接客サービス



～いじめ防止に向き合う中学生同士の初めての交流会～

いじめ防止ラウンドテーブル



オンラインによる開催



意見交流する福島四中の皆さん

8月20日に「いじめ防止ラウンドテーブル」をオンラインにより開催しました。この取組は、中学生目線で捉えたいじめに対する生の声を取り上げ、いじめに向き合う意識を学校全体で高めていこうというものです。当日、いじめ防止に積極的に取り組む相馬市立中村第一中学校、福島市立福島第四中学校、喜多方市立第三中学校の生徒会の皆さんが、浜通り、中通り、会津地方を代表して参加し、いじめ防止に対する取組の発表と意見交流を行いました。交流後「県内の生徒会の皆さんがそれぞれに工夫して活動していることが分かった。」「私たち自身がいじめに対して発信していくことが大切だと思った。」などの感想がありました。中学生の言葉に心強さを感じました。



他校の取組を聞く中村一中の皆さん



取組について発表する喜多方三中の皆さん

「イノベんとぅ」開発成果報告と県庁販売

7月13日に磐城農業高校・小名浜海星高校・相馬農業高校が「イノベんとぅ」商品開発成果報告のために教育長を訪問しました。また、県庁西庁舎2階県民ホールにて「イノベんとぅ」販売を行いました。

「イノベんとぅ」とは…
福島イノベーション人材育成事業の農林水産分野の選定校である磐城農業高校・小名浜海星高校・相馬農業高校の生徒が、スマート農業等を活用した学習の成果として開発・商品化しました。



参加校より

- 小名浜海星高校との共同開発メニューが完成し、充実感が得られた。(磐城農業高校)
- 福島丸で水揚げした魚と磐農の野菜を使い、彩り・栄養・おいしさにこだわった。(小名浜海星高校)
- 郷土料理べんけいを取り入れたメニュー開発を何度も繰り返し、弁当が完成した。(相馬農業高校)



イノベんとぅ①
(相馬農業高校 開発)



イノベんとぅ②③
(磐城農業高校・小名浜海星高校 共同開発)



「自分手帳」活用事業 ～健康マネジメントプラン事業～

1. 「自分手帳」って何？

- 震災・原発事故後の子どもの健康課題解決のために、県教育委員会が平成27年度に作成したものです。
- 「運動」「健康」「食生活」の3つの内容で構成され、運動や生活習慣等の改善に取り組めるよう構成されています。
- 毎年、小学4年生に配付し高校3年生まで継続して活用します。
- 各学校では家庭と連携し、様々な教育活動の場面で実態に応じた効果的な活用を図っています。



2. 活用を通して育成を目指す「未来に生きる資質・能力」とマネジメントサイクル

- 【自己理解・自己管理能力】 自己の生活習慣を見つめ、健康課題に気づき、行動できるようにします。
- 【情報分析力】 諸調査等の結果と生活習慣の関係を探り、原因を把握できるようにします。
- 【課題解決力】 目標設定から行動、振り返りのサイクルにより課題を解決できるようにします。

3. 活用をお願い

- ご家庭では、お子さんの成長とともに変化する健康状態や体力等の推移を把握し、学校との具体的な連携をお願いします。
- 学校から手帳への記入や内容の確認を依頼された場合には、ご協力をお願いします。
- 高校3年生まで継続して使用しますので、紛失しないようご注意ください。紛失した場合は、県教育庁健康教育課のHPからダウンロードできますが、販売はしていません。

「ふくしま活用力育成シート」問題にチャレンジ!

【問題】令和元年度第3回「ふくしま活用力育成シート」中学1年英語より

廊下の英語コーナーには、ALTのブラウン先生(Ms. Brown)が、冬休みに福島県内を旅行した時の写真とコメントが掲示されています。それを見て、写真についてより詳しく知りたくなり、ブラウン先生にアンケートを実施することになりました。アンケートで聞いてみたいことを、それぞれの写真について1つずつ書きましょう。



I went to Aizu.
I made an akabeko.
I had a good time.



I can skate.
I enjoyed skating.
Do you like it?

写真①について

写真②について

問題の趣旨&解答

- ▶ 問題の趣旨 写真と文章からブラウン先生に聞いてみたいことを考える場面において、「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるかどうかをみる」問題です。
- ▶ 解答 【写真①】Did you go to Tsurugajo[Tsuruga-jo]?/How did you go there?/Who did you go with? 等
- 【写真②】Where did you go(skate)?/Can you ski, too?/Did you have a good time? 等

親子で
チャレンジ!



新しい時代を生きる子どもたちには、理解していること・できることをどう使うかという「思考力、判断力、表現力等」の育成が求められています。「ふくしま活用力育成シート」は、県内の小学4年生～中学2年生を対象にそれらの力の育成を目指して作成され、各学校の授業場面や家庭学習等で広く活用されています。どのような問題が出題されているのか、お子さんと一緒に「中学1年英語」の問題に挑戦してみましょう。

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00
「ダイヤルSOS」 0120-453-141
 〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。
「ふくしま24時間子どもSOS」 0120-916-024

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

顧客満足度第1位に選ばれました。

都道府県民共済グループは2020年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査において、生命保険部門・損害保険部門(住宅・火災保険)の2部門にて、顧客満足度第1位という評価をいただきました。



2020年度 JCSI(日本版顧客満足度指数)調査

●充実の保障ラインナップ

思いやりの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県認可 **福島県民共済生活協同組合**
 〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F

0120-282-869

FAX 024(524)1400 **福島県民共済**
 [受付時間] 平日 9:00～17:00